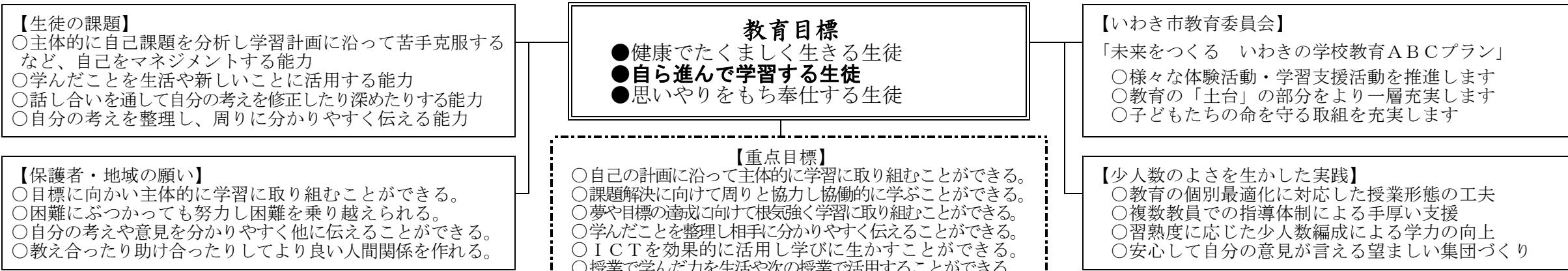


## 令和7年度 玉川中学校学力向上グランドデザイン



実態把握と計画立案	実践	評価・指導(支援)	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況実態調査の分析と対応策の検討</li> <li>・ふくしま学力調査の分析と対応策の検討</li> <li>・I-SUSによる分析と対応策の検討</li> <li>・学校カルテによる実態把握と対応策の検討</li> <li>・小テストや生徒アンケートによる実態把握</li> <li>・評価を基に各教科における指導目標指導方法の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉から対話型重視への授業改善</li> <li>・授業における振り返りの時間確保</li> <li>・上位下位を伸ばす習熟度別学習</li> <li>・授業等における発表機会の設定</li> <li>・タブレット持ち帰りに対応した家庭学習</li> <li>・I C Tの効果活用</li> <li>・テスト後の振り返り時間の確保</li> <li>・教科担任による学習相談の実施</li> <li>・学びの習慣づくり支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価と分析</li> <li>・各教科における指導目標の評価</li> <li>・学校カルテによる評価</li> <li>・I -S U Sによる評価と分析</li> <li>・ふくしま学力調査</li> <li>・タブレット持ち帰りに対応した家庭学習</li> <li>・全国学力学習状況実態調査結果による評価と分析</li> <li>・学力向上対策の反省と次年度目標設定</li> <li>・補充学習による支援</li> <li>・学びの習慣づくり支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の知識・表現技法文法の基礎基本を定着させ読み解くに応用させる。</li> <li>・根拠一分析一結論の論理的な構成の文章を書けるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の徹底的な反復学習を行う。</li> <li>・社会的事象への興味関心の喚起と表現力向上を目指した授業を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を復習する時間を確保して、基礎基本の定着を図る。</li> <li>・思考・表現力の向上を目指した授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト等復習する時間を確保し、基礎基本の定着を図る。</li> <li>・学習内容を普段の生活と関連付けて授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I C T等を活用、工夫し、基礎基本の定着を図る。</li> <li>・表現力を高めるために言語活動を充実させる。</li> </ul>

**小・中連携**

- 児童・生徒の情報交換による実態の把握
- 実態に基づく共同授業研究の実施、教職員の交流
- 9年間を見通した教育課程の編成と保護者への意識化
- 家庭学習の手引き等の活用と保護者への啓発

**学びの習慣の確立**

- 実態調査と結果を生かした学習相談の実施
- 家庭と連携を図った家庭学習の指導
- 授業→家庭学習→点検・追指導→授業」の学習サイクルの確立

**主体的・対話的で深い学びの充実**

- 話し方、聞き方、発表の仕方、話し合いの仕方の定着
- 自分の考えをわかりやすく伝える工夫(書く・まとめる・記録する)
- 多様な表現の機会・話合いの場の設定、I C Tの活用
- 振り返りの時間確保と次への見通しをもった学び

玉川中学校の授業は…

- ◇学びの基礎力を身に付けるとともに、学習内容や学習方法の見通しをもって、「分かった、できた」が実感できる授業を目指します。
- ◇基礎・基本の確実な定着を図りながら、確かな学力の向上に努めます。
- ◇生徒一人一人に応じたきめ細やかな個別最適な指導・支援に努めます。
- ◇I C Tの活用や授業形態等の工夫により、得意・不得意にかかわらず全体が向上できる効果的な学びの充実に努めます。

**夢や目標達成のための基盤をつくります**